

株主の皆様へ



森下仁丹株式会社

第74期事業報告書

(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

証券コード：4524

ごあいさつ

株主の皆様には平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
また、このたびの東日本大震災により被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

ここに、当社グループの第74期（平成22年4月1日から平成23年3月31日まで）の事業の概況をご報告申し上げます。よろしくご高覧賜り、今後ともより一層のご支援、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

事業の概況

当連結会計年度におけるわが国の経済は、中国や新興諸国の経済成長の牽引による輸出や生産量の増加という一部業種に景況感の改善がみられたものの、円高・デフレの長期化や厳しい所得・雇用環境等依然として先行き不透明な状況にあり、個人消費も低調に推移いたしました。さらに3月11日に発生した東日本大震災により、わが国経済は未曾有の危機に直面いたしております。

当社グループの属する健康関連業界も、中高年を主体とした健康意識の高まりが持続しているものの、消費者の生活防衛意識による価格選好意識の高まりや異業種を含む大手企業の新規参入など当社グループを取り巻く環境は引き続き厳しい状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループとしては「技術を価値に、全ては健康のために」をビジョンとして期初から積極的な諸施策・諸活動を展開してまいりました結果、売上高は7,732百万円（前期比3.2%増）となりました。

利益面においては、前年流行した新型インフルエンザに対応した除菌剤等の衛生対策商品市場が縮小し、同商品在庫の処分費用等約170百万円を計上したことにより営業利益は90百万円（前期比51.6%減）となりました。

また、営業外損益では補助金収入がプラス要因となり経常利益は104百万円（前期比42.0%減）、当期純利益は79百万円（前期比62.4%減）となりました。

なお、3月11日に発生しました東日本大震災による当社グループ各社の直接的な人的および物的被害はありませんでした。



代表取締役社長
駒村 純一

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①ヘルスケア事業

当セグメントにおきましては、主力商品「ビフィーナ」の売上高は1,963百万円（前期比21.0%増）と引き続き順調に推移いたしました。競合の激しい青汁等他通販商品群が苦戦を強いられたこと、衛生対策商品の販売不振等により売上高は5,596百万円となりました。

損益面では、製造原価のコストダウンと経費の効率的運用に徹したものの衛生対策商品の廃棄等の影響が大きく当期のセグメント損失は81百万円となりました。

②カプセル受託事業

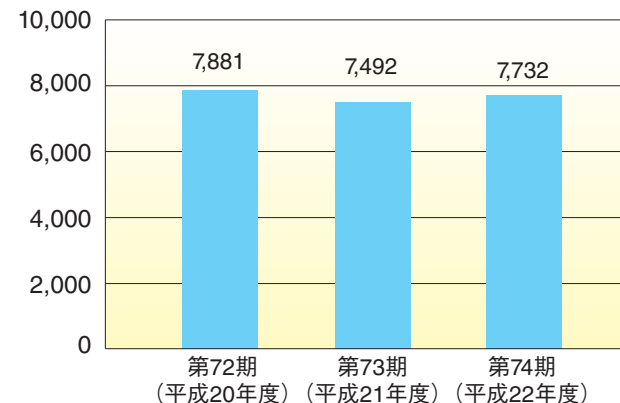
当セグメントにおきましては、医薬品分野のカプセル受託は引き続き好調に推移し、さらに円高の影響を受けつつも受託先の拡大に努力したことにより、売上高は2,071百万円となりました。

損益面では、製造原価のコストダウンに注力したことから当期のセグメント利益は176百万円となりました。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

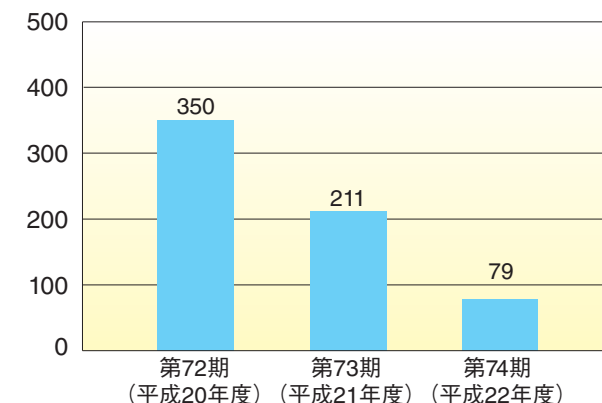
◆売上高（連結）

（単位：百万円）



◆当期純利益（連結）

（単位：百万円）



連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別	当連結会計年度 (平成23年3月31日現在)	前連結会計年度 (平成22年3月31日現在)
(資産の部)			
I 流動資産		3,673	3,695
現金及び預金		1,685	1,708
受取手形及び売掛金		881	729
商品及び製品		506	714
仕掛品		272	235
材料及び貯蔵品		254	209
繰延税金資産		2	2
その他の資産		70	95
II 固定資産		6,742	6,972
(1)有形固定資産		5,479	5,655
建物及び構築物		2,592	2,736
機械装置及び運搬具		648	687
土地		2,025	2,025
建設仮勘定		12	—
その他の固定資産		200	205
(2)無形固定資産		169	183
(3)投資その他の資産		1,093	1,133
投資有価証券		922	991
その他の資産		171	141
資産合計		10,415	10,668
(負債の部)			
I 流動負債		1,626	1,616
支払手形及び買掛金		898	833
1年内返済予定の長期借入金		100	120
返品調整引当金		16	20
その他の負債		612	642
II 固定負債		1,554	1,733
長期借入金		650	750
その他の負債		904	983
負債合計		3,181	3,350
(純資産の部)			
I 株主資本		7,327	7,350
(1)資本金		3,537	3,537
(2)資本剰余金		963	963
(3)利益剰余金		2,959	2,981
(4)自己株式		△ 132	△ 131
II その他の包括利益累計額		△ 92	△ 32
その他有価証券評価差額金		△ 92	△ 32
純資産合計		7,234	7,317
負債・純資産合計		10,415	10,668

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別	当連結会計年度 (平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで)	前連結会計年度 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)
I 売上高		7,732	7,492
II 売上原価		3,793	3,691
売上総利益		3,939	3,800
III 販売費及び一般管理費		3,849	3,614
営業利益		90	186
IV 営業外収益		42	21
V 営業外費用		27	26
経常利益		104	180
VI 特別利益		27	47
VII 特別損失		20	0
税金等調整前当期純利益		111	227
法人税、住民税及び事業税		29	20
法人税等調整額		2	△ 4
少数株主損益調整前当期純利益		79	—
当期純利益		79	211

連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度（平成22年4月1日から平成23年3月31日まで）

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本計	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計	
平成22年3月31日残高	3,537	963	2,981	△ 131	7,350	△ 32	△ 32	7,317
連結会計年度中の変動額								
剰余金の配当			△ 101		△ 101			△ 101
当期純利益			79		79			79
自己株式の取得				△ 0	△ 0			△ 0
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)						△ 59	△ 59	△ 59
連結会計年度中の変動額合計			△ 22	△ 0	△ 23	△ 59	△ 59	△ 83
平成23年3月31日残高	3,537	963	2,959	△ 132	7,327	△ 92	△ 92	7,234

貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別	当期 (平成23年3月31日現在)	前期 (平成22年3月31日現在)
(資産の部)			
I 流動資産		3,559	3,549
現金及び預金		1,561	1,567
受取手形及び売掛金		892	731
商品及び製品		502	710
仕掛品		272	235
原材料及び貯蔵品		251	205
その他		78	97
II 固定資産		6,808	7,045
(1)有形固定資産		5,478	5,654
建物及び構築物		2,592	2,736
機械及び装置		643	681
土地		2,025	2,025
建設仮勘定		12	—
その他		205	210
(2)無形固定資産		168	182
(3)投資その他の資産		1,161	1,208
投資有価証券		918	987
その他		242	220
資産合計		10,367	10,595
(負債の部)			
I 流動負債		1,598	1,579
支払手形及び買掛金		898	833
1年内返済予定の長期借入金		100	120
返品調整引当金		16	20
その他		583	606
II 固定負債		1,554	1,733
長期借入金		650	750
その他		904	983
負債合計		3,153	3,313
(純資産の部)			
I 株主資本		7,307	7,314
(1)資本金		3,537	3,537
(2)資本剰余金		963	963
(3)利益剰余金		2,939	2,945
その他利益剰余金		2,939	2,945
固定資産圧縮積立金		766	765
繰越利益剰余金		2,172	2,180
(4)自己株式		△ 132	△ 131
II 評価・換算差額等		△ 92	△ 32
その他有価証券評価差額金		△ 92	△ 32
純資産合計		7,214	7,281
負債・純資産合計		10,367	10,595

損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別	当期 (平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで)	前期 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)
I 売上高		7,570	7,362
II 売上原価		3,795	3,691
売上総利益		3,774	3,671
III 販売費及び一般管理費		3,736	3,508
営業利益		37	163
IV 営業外収益		52	29
V 営業外費用		27	26
経常利益		62	166
VI 特別利益		67	47
VII 特別損失		18	4
税引前当期純利益		112	208
法人税、住民税及び事業税		12	12
法人税等調整額		3	△ 2
当期純利益		95	198

株主資本等変動計算書

当期（平成22年4月1日から平成23年3月31日まで）

(単位：百万円)

	株主資本					評価・換算差額等		純資産合計	
	資本金	資本剰余金 資本準備金	利益剰余金 固定資産 圧縮積立金	繰越利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金		評価・換算 差額等合計
平成22年3月31日残高	3,537	963	765	2,180	△ 131	7,314	△ 32	△ 32	7,281
事業年度中の変動額									
剰余金の配当				△ 101		△ 101			△ 101
固定資産圧縮積立金の取崩			△ 3	3		—			—
固定資産圧縮積立金の積立			5	△ 5		—			—
当期純利益				95		95			95
自己株式の取得					△ 0	△ 0			△ 0
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)							△ 59	△ 59	△ 59
事業年度中の変動額合計			1	△ 7	△ 0	△ 7	△ 59	△ 59	△ 67
平成23年3月31日残高	3,537	963	766	2,172	△ 132	7,307	△ 92	△ 92	7,214

《新製品のご紹介》

“とびひ*・化膿性皮膚炎”のセルフ治療薬
『オノフェ^{エフ}』
4月5日(火)新発売！

※とびひとは…細菌が原因でおこる皮膚の感染症です。



小さなお子様を持つお母さんも
安心して使える処方考えた治療薬

【商品特徴】

- ① 3つの有効成分が、とびひ、化膿性皮膚炎に効く
「スルファジアジン」「酸化亜鉛」「アラントイン」の3つの有効成分が、とびひ・化膿したジュクジュク皮膚炎にしっかり効きます。
- ② 非ステロイドでお子様に配慮した処方
非ステロイドのしみない軟膏タイプなので、小さいお子様にも安心してご使用して頂けます。
- ③ とびひの症状を分かりやすく訴求したパッケージ
とびひは、広がってしまうと治りにくいので、広がる前のケアが大切です。初期症状を「とびひ」だと認識できるように症状を分かりやすく訴求したパッケージにしました。

商品名	オノフェ ^{エフ}
内容量	7g
包装	チューブ、小箱
価格	924円(税込)

薬剤塗布後の傷等へのかきむしり防止用絆創膏
『かぶせてガード』
4月5日(火)新発売！



外部からの刺激の保護に

【商品特徴】

- ① 薬を塗った後のベタベタ・かきむしりたくない部分の保護、さらに外部からの刺激もガードできる大きめタイプの救急バンです。
- ② 伸縮性にすぐれ、動きのはげしい関節部分(ひじ・ひざなど)にもしっかりフィットします。
- ③ 肌にやさしい粘着剤を採用しています。
- ④ デリケートなお子様等のお肌にも安心してご使用いただけます。

商品名	かぶせてガード
内容量	5枚
包装	小袋
価格	473円(税込)

ビービーエス ラボ
ビフィーナBPSLABシリーズに『UVカットミルクEX』が新登場！
4月25日(月)新発売！

森下仁丹の長年のビフィズス菌研究と年齢肌を科学し生まれた
高機能スキンケアシリーズ

【商品特徴】

- ① UVケア&エイジングケアのW機能をもつUVカットミルク
乳液のようなしっとりした使い心地で、白浮きやべたつきなく、しっとり透明感のあるきめ細やかな肌に仕上げます。肌にやさしく、負担をかけずにUVケアできます。SPF20・PA++
- ② 森下仁丹独自のBPS(ビフィズス菌産生多糖体)配合
森下仁丹独自のビフィズス菌研究から生まれたウォータープロテクション成分。肌の表面に水のベールをつくり、外的刺激から肌をまもるとともに、角層内の水分をしっかりキープします。BPSは、ビフィーナBPSLABスキンケアシリーズ全品に配合されています。
- ③ 15種類の機能性成分に8種類の保湿成分を配合
森下仁丹独自成分「BPS(ビフィズス菌産生多糖体)」のパワーをサポートする成分や世界中の種子や果実の成分に着目した15種類の機能性成分にUVケアに対応した8種類の保湿成分を配合しました。

商品名	BPSLAB UVカットミルク EX
内容量	30mL/無香料・無着色
剤形	ミルクタイプ
価格	2,625円(税込)



会社概要（平成23年6月29日現在）

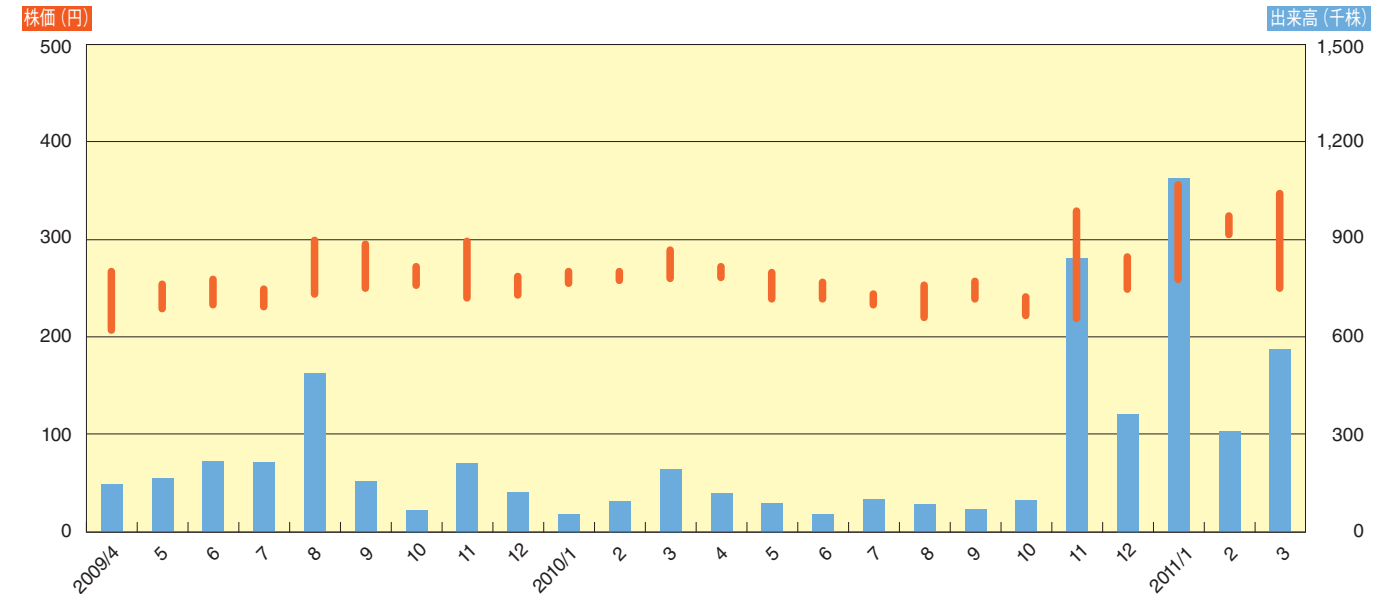
役員

代表取締役社長	駒村純一
取締役名誉会長	森下美恵子
取締役	武貞文隆
取締役	木村雅則
監査役(常勤)	高橋優夫
監査役	渡邊俣治
監査役	澤田侑己
常務執行役員	高田真一
執行役員	目黒一夫
執行役員	岡信哉

(注) 監査役のうち渡邊俣治、澤田侑己の両氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

商号	森下仁丹株式会社 MORISHITA JINTAN CO., LTD.	
資本金	35億3,740万円	
事業の内容	医薬品、医薬部外品、医療用具、化粧品、食品および雑貨等の製造販売	
事業所および工場		
本社	大阪府大阪市中央区玉造一丁目2番40号	電話(06) 6761-1131(代表)
大阪テクノセンター (大阪工場)	大阪府枚方市津田山手二丁目11番1号	電話(072) 800-1040
滋賀工場	滋賀県犬上郡多賀町大字四手諏訪960番地12	電話(0749) 48-7370

株価および出来高推移



株主メモ

事業年度末日	3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会 公告の方法	毎年6月 電子公告 (http://www.jintan.co.jp) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告に公告することができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。
金融商品取引所	株式会社大阪証券取引所 市場第二部 株式会社東京証券取引所 市場第二部
株主名簿管理人 特別口座口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話(通話料無料) 0120-094-777

【お知らせ】

1. 株券電子化によるご注意

- (1)株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2)特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にてもお取次ぎいたします。
- (3)配当金の口座振込のご指定につきましても、お手続きは配当金振込指定書を各口座管理機関を経由してお届けいただくこととなりました。振込指定のお手続きにつきましては詳しくは各口座管理機関にお問い合わせください。
- (4)未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

2. 配当金計算書について

配当金の口座振込をご指定の方と同様に、「配当金領収証」により配当金をお受取になられる株主様宛にも「配当金計算書」を同封いたしております。配当金をお受取になった後の配当金額のご確認や確定申告の資料としてご利用いただけます。

なお、株式数比例配分方式を選択されている株主様におかれましては、詳しくは口座を開設されている口座管理機関にお問い合わせください。